

<p>🔔🔔学校だより🔔🔔 Obihiro Kounan Elementary School</p> <p>のぞみ かね <b>希望の鐘</b></p> 	<p><b>帯広市立光南小学校</b></p> <p>《学校教育目標》 ○健康で、ねばり強い子ども ○よく考え、自ら学ぶ子ども ○心豊かで、思いやりのある子ども ○力を合わせ、進んで活動する子ども</p> <p>令和6年7月23日 5号</p>
--	--

## 夏休み34日間～未来科学にふれてみては！～ 校長 森下 寛

今月5年生が児童会館へ宿泊学習に行ってきました。私も帯広っ子ですので、子どもたちと一緒の宿泊し、実験学習や展示室の見学をしました。展示室は、今思うとほぼ半世紀前の展示物だったのですが、子どもが大人を持ち上げられる滑車や椅子（パスカルの定理）など、今でも印象に残っているものがいろいろあり、科学への興味をくすぐられたのだなと実感します。現在は、10年ほど前に科学展示室がリニューアルし、一昨年にはプラネタリウム投影機も更新されています。

明日より、34日間の夏休みに入ります。25日間が通常でしたが、ここ数年夏の暑さに悩まされて来たことを受け、本州の学校に近い長めの休みとなります。暑さをしっかりしのぎつつも、一学期の学習をすっかり忘れてしまうことのないよう復習に取り組み、かつ有意義に過ごしてほしいと思います。その一つとして、お子さんの科学への興味をくすぐってみるのはどうでしょうか？

私が子どものころは、ゲームも独占できるテレビもなく、10巻の百科事典が貴重な娯楽の一つでした。思えばあの百科事典は、私の探求心を育てるのに一役買ってくれていたのでしょう。右の写真は、理科室前のポスターで「ガラス」がテーマです。ガラスの何が面白いのだ？と近寄って所々を読んでもみると、ガラスは原始時代から人類とともに歩んできた万能材料であることがわかってきます。これらのポスター、平成17年から毎年1枚学校に届けられ、今年が20周年とのこと。元素周期表、ヒトゲノムマップ、宇宙図、…と20種類のテーマのポスターが科学技術振興機構のサイエンスウィンドウのHPから印刷できたり、子ども向け特集ページに入ったりできるようになっています。他にも、JAXA 宇宙科学研究所のキッズサイト、国立物質・材料研究機構 NIMS の動画サイト「未来の科学者たちへ」など、インターネットで簡単に最新の科学に触れられる子ども向けサイトも充実してきました。



また、道内には、児童会館と同じような科学館や博物館がいくつかあります。同じ道東の釧路市こども遊学館、宇宙船ミールの苫小牧市科学センター、科学の不思議を体感しながら学ぶ滝川市こども科学館など、お出かけの目的地に加えてみてはどうでしょうか。

2040年以降のグローバル化する社会の持続的な発展に向けた議論の中で、STEAM 教育（科学・技術・工学・芸術・数学の5つの英単語の頭文字を組み合わせた造語）の充実が期待がかけられています。社会とテクノロジーの関係がますます密接になっていくこれからのAI時代、この5つの領域の理解と学びを具体化する能力がますます必要になるといわれています。

2025年は大阪万博が開催されます。紹介の報道などを子どもたちが興味をもってみけると嬉しいですね。